

令和3年9月30日

組合員 殿

山形建設労働組合  
執行委員長 水戸 一馬

## 2022年度国保組合の予算要求確保に向けた ハガキ要請行動の取組みについて

仲秋の候、毎日のお仕事お疲れ様です。

2022年度の建設国保補助金の現行水準確保に向け、ハガキ要請行動を行います。

**山形県全体で200%のハガキ要請を目標としています。その目標達成に向け、山建労として一人3枚のハガキ要請行動に取り組みます。**

裏面を参考に、ハガキ(3枚)へ必要事項を記入して、**10月15日(金)**まで返信用封筒にいれポストに投函してください。**※全組合員が対象です。**

### 山建労は県内で一番低い実施率!?ハガキ要請(一人3枚)にご協力ください。

順位	組合名	実施率
1	天童	286.7%
2	飯豊	202.9%
3	南陽	200.9%
4	新庄	200.3%
5	田川	200.0%
5	酒田	200.0%
5	北村山	200.0%
5	村山	200.0%
5	河北	200.0%
5	西川	200.0%
5	寒河江	200.0%
5	米沢	200.0%
5	川西	200.0%
5	小国	200.0%
15	大江	194.2%
16	朝日	188.9%
17	高畠	187.7%
18	長井	146.0%
<b>19</b>	<b>山形</b>	<b>135.3%</b>
平均	山形県	186.30%

※令和3年 夏のハガキ要請行動

山形県には、各地区に19の組合があり、約1万人の建設従事者が加入しています。毎年2回、ハガキによる建設国保の予算要求を行っていますが、前回、山建労(左表、山形)は、残念ながら19組合中で一番低い実施率となってしまいました。

現在、山建労の組織人数は2400名を超え、県内で一番大きな組合です。したがって山建労の実施率の低迷は、山形県全体に大きな影響を与えています。逆に言えば、山建労の頑張り次第で、山形県の実施率は飛躍的に向上します。

建設国保は『自分たちで作り、自分たちで要求し、自分たちで運営する』という制度です。昭和45年に先輩方の運動によって設立しました。そして毎年ハガキで国に補助金を要求し、その補助金と自分たちの保険料で運営しています。

一人一人が書くハガキは、山形県で2万枚、全国で百万枚を超えます。その一枚一枚が力となり国からの補助金が確保されます。このハガキ要請は、建設国保の運営に大きくかかわります。ご協力をお願いします。

～裏面をご確認ください～

# 請願ハガキの書き方

ペンやボールペンで書いてください(鉛筆不可)

10月15日(金)まで返信用封筒に入れ組合へ送ってください。

※ 一人暮らしの方は、3枚とも自分の名前で作成してください。

※ 直接ハガキをポストに投函しないでください。

ハガキを書いた人の氏名・住所を手書きで記入して下さい

おもて

郵便はがき

100-8940

東京千代田区霞が関三ー一ー

料金後納郵便

差出人

氏名 山建太郎

住所 山形市青田南〇ー〇

財務省 主計局長殿

うら

私は山形県で〇〇をしています。

建設国保はいのちと健康を守る大切な制度です。

私たちの建設国保への補助金は現行水準を確保して下さい。

主語は書いた人から見た組合員を表記して下さい。  
例えば...  
(書いた人) (主語)  
本人 → 私は  
奥さん → 私の夫は  
子 → 私の父は

職種を記入して下さい  
(例: 大工、左官、土工、空調設備工、現場管理など)  
① 建設業では何の職種かわからないので具体的に書いて下さい  
② 建設業以外の職種を書かなくて下さい。

字は下手でも大丈夫。心をこめて丁寧に書きましょう!!